

**平成29年度 被災者支援総合交付金 「心の復興」 事業（第1回募集分）
交付可能額（団体別）**

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
1	震災以前の豊かな故郷の記憶を次世代に伝えるプロジェクト	国立大学法人筑波大学	震災以降の記憶しか持たない幼稚園児や若い世代のために、良き昔の話を紙芝居で演じたり絵本で表現するなどして、地域文化の記憶を手渡し、世代間交流のための基盤を築く。そのために、大学生達が仮設住宅のお年寄りと交流しながら昔話を伺って紙芝居や絵本を制作することによって、世代間交流の橋渡しの役割を担う。	福島県南相馬市・および同市市民の避難先である県外の地域等(東北方面・つくば市・東京都・神奈川県等)	3,550
2	被災高齢者のための居場所作り「まざっぺ広場」事業	NPO法人しんぐるまざあず・ふおーらむ・福島	現在も被災者の多くが精神的に不安定な状態にあり日々深刻化している。なかでも一人暮らしの高齢者は地域から孤立し、コミュニケーションの場を失い不安な日々を送っている。こうした状況におかれている被災高齢者が地域の方たちと交流できるための居場所「まざっぺ広場」を作り被災された方々の「心の復興」につなげる事ができるよう支援することを目的とする。	福島県郡山市	3,500
3	H29年度「にじいろぱれっと・心の復興」	特定非営利活動法人東北の造形作家を支援する会(略称:SOAT)	未来に期待できるようになっていくための生きがいづくり、地域に根差したコミュニティの構築と世代に関わらず地域の人たちが主体となって継続できる活動を目指す。内容としては、「地域支援団体等との連携によるアートワークショップの開催」の取組を実施する。	岩手県、宮城県、福島県、東京都	9,291
4	人と農と手仕事をつなぐネットワークづくり事業	一般社団法人新古里農園	仮設住宅・災害公営住宅の住民、被災地区の高齢者や農家が、協力して農作物の栽培や加工品作りを行い、地域のイベントなどで販売するネットワークをつくることによって、住民が身近な地域で活躍する機会や交流の場を増やし、特色あるものづくりや地域の活性化にも貢献する。	宮城県石巻市、南三陸町、東松島市	1,534
5	福島一山形 空と土の交流広場事業2017	特定非営利活動法人青空保育たけの子	福島市周辺は未だ放射線量や土壌汚染が高く、生活に不安を抱える住民が少なくない。その影響で住民生活において様々な「分断」が起きておりその解消が課題となっている。避難している人・留まっている人・帰還した人など立場の違いによるお互いの心の分断、中高年男性の社会との分断などである。この解消のために、原発事故以降当法人が活動場所としてきた米沢市の施設における交流促進事業(①母ちゃんの会山形④マルシェ)や福島事務所における事業(②母ちゃんの会福島)その他(③父ちゃんの会)を行なうことにより心の復興を目指す。	福島県福島市周辺地域、山形県米沢市周辺地域	2,700
6	住民主体型生きがいサークル作り応援プロジェクトと風化防止塾	一般社団法人 JAST(日本ソーシャルセラピストアカデミー)	みんなで作り上げる音楽サークル、仮設住宅同窓会等を通し、住民自らが繋がりや生きがいを作り出す。住民全員が複数のコミュニティーに属し、健全な社会参画が出来ている状態になること、避難先、移住先に於いて、いじめや孤立、孤独死等を出さないこと、住民自らが、多様な価値観を尊重した新しい縁結びを推進することを目的とする。	東京都(江東区・荒川区・中野区)・埼玉県・茨城・栃木・宮城(名取市・石巻市・東松島市)・福島・山形	12,374
7	ふるさととの繋がり維持及びまちづくりワークショップ事業	特定非営利活動法人大熊町ふるさと応援隊	震災から6年、近隣町村の避難解除が進む中、未だに避難を強いられている大熊町民に対して、ふるさとを今を見ること、知ること、学ぶことでふるさととの繋がりを維持していく。また、町民同士が集まり、ふるさとについて考え、語り、気持ちを共有する中から、今後のまちづくりのあり方を探っていく。	福島県大熊町、栃木県宇都宮市、神奈川県横浜市、埼玉県川越市、宮城県仙台市	3,171
8	復興を支えた地域住民の想いを活かす	一般社団法人 宮城県社会福祉士会(宮城県サポートセンター支援事務所)	被災者でありながら復興のために尽力された方々の活動に光を当て住民間で共有することで、復興が被災した地域住民によって成し遂げられたことを再確認し、今後の復興に不可欠な被災者の当事者を高め、被災者自身が相互に支え合う地域コミュニティ形成の機運を高めることを目的とする。	宮城県4か所(南三陸町、石巻市、山元町、七ヶ浜町)	3,461

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
9	福島こころの公民館事業	特定非営利活動法人やまがた絆の架け橋ネットワーク	避難者同士が集まる機会を創出することで、依然帰還か定住かを迷っている方の情報交換の場として有効に活用されることが見込まれ、安定した避難生活及び帰還か定住かの選択が可能となる。いずれの選択にせよ避難者の人生の選択に寄与する取組にする。	山形県山形市、天童市、寒河江市、上山市、山辺町	3,260
10	多世代協働による『食づくり・ものづくり』ハッピープロジェクト	ハッピープロジェクト	被災者の方が、子ども・大学生・高齢者・地域住民等さまざまな世代といっしょに、ともに汗をかき楽しみながら行う、多世代協働によるハーブ・農作物づくりや多世代交流会等の「多世代協働による食づくり」、多世代協働で育てたハーブを活用したアロマづくり等の「多世代協働によるものづくり」、被災地外での飲食店でのメニュー提供等による「風化防止」、「効果検証」を行う。	宮城県名取市、福島県南相馬市、神奈川県横浜市	3,780
11	みんなの畑野菜で共に饗する生きがい交流プロジェクト	特定非営利活動法人ザ・ピープル	いわき市小名浜地区復興支援ボランティアセンターを拠点として、「みんなの畑菜園」と名付けられた共用の畑で原発避難者が育てた野菜を、いわき市営住宅に住む地震津波被災者と福島県営住宅に住む原発避難者が共に郷土料理に調理して饗し、音楽や演芸といった楽しみを提供する外部支援者と共に食すことで、自主的な交流を促進する。	福島県いわき市	3,497
12	地域伝承と交流による生きがいづくりと地域協働の復興まちづくりプロジェクト	特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン	避難移住者が4,195人に上る内陸部の登米市において、交流農園での作付や収穫、収穫物での交流会と手創り市等の開催により交流を深めながら、真の復興に向けたまちづくりの取り組みとする。	宮城県本吉郡南三陸町、宮城県登米市	3,362
13	被災者と共に歩む心の回復の記録と記録を活用したコミュニティづくり	特定非営利法人 相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会	当法人が継続的に行う集団活動の中で、相双地区の住民の声を集め震災からの回復の記録、地元文化に根差した料理のレシピ集や紙芝居・絵本を作成する。その記録を活用し地域の住民との交流を図り、体験を共にすることで心の回復を図ることを目的とする。	福島県 南相馬市、相馬市、新地町、飯館村、浪江町、双葉町	3,429
14	ふっくら布ぞうりの会による、布ぞうり作りを通した生き甲斐支援	一般社団法人あゆみ(ふっくら布ぞうりの会)	布ぞうりの講習会、勉強会を通して、ものづくりを純粋に楽しんでもらう。布ぞうりを作る仲間ができることで、新しいコミュニティ作りのきっかけになるとともに、生き甲斐につなげる。	宮城県 南三陸町・石巻市・東松島市、岩手県 陸前高田市	2,645
15	心と体の栄養復興プロジェクト	特定非営利活動法人 日本臨床研究支援ユニット	本事業では、「国境なきクリエイション」「健康IKOI隊」の2つの取組を、複数地域の被災住民及び周辺地域住民を対象に行う。心と体に対する栄養として、ものづくりを通じた達成感、学生との交流による社会的役割意識及び健康増進に関する正しい知識の獲得を促し、復興・創成期の当事者たる被災地住民を支援していく。複数地域で実施することで、被災地内外の交流を促す。	福島県いわき市、郡山市、福島市、富岡町、宮城県岩沼市	3,494
16	あたらしいまちのためのコミュニティ・ファニチャー製作事業	合同会社コミュ	災害公営住宅などの移転先において、少人数のグループごとに、被災者たちとコミュニティ・ファニチャー(ベンチなどのコミュニティの交流を促す公共性の高い家具)を共同作業でつくることで、コミュニティづくりを促しながら、地域活動やまちづくりへの参加のきっかけとなることを目的とする。	宮城県東松島市・石巻市・女川町	8,994
17	災害公営住宅とNPO等の連携によるウェルビーイング・ハウジングづくりの普及と深化	特定非営利活動法人つながりデザインセンター・あすと長町	特に重点的にサポートが必要とされる2地域(盛岡、いわき)をピックアップし、災害公営住宅とNPO等とが連携したウェルビーイング・ハウジングづくりの継続的なサポートを実施する。また同時に、当団体の活動拠点である、あすと長町での取り組みの深化を検討していく。	岩手県盛岡市、宮城県仙台市、福島県いわき市	2,341

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
18	石巻地域の仮設住宅、復興住宅でのコミュニティ形成支援事業	特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク	石巻市の仮設住宅団地集会所および復興住宅集会所にて、住民の孤立防止と生きがい創出の為に、月7回程度のサロンやイベントの開催を通じてコミュニティ形成を支援する。また、仮設住宅の住民と周辺住民とが協力して開催するお祭りをサポートすることでコミュニティの強化を図る。さらに、仮設住宅や復興住宅において、イベント、ワークショップ等を住民と協働開催することを通じて交流し、被災者支援に貢献したいという個人やグループと住民のニーズをコーディネートし、住民とボランティアとの心の通い合いを築くとともに、震災の風化防止に繋げる。	宮城県、石巻市	5,169
19	避難者と避難受入れ地元住民との交流と協働による絆づくり	まちづくりNPO新町なみえ	未帰還者と帰還した人々の絆を繋ぎとめ帰還するまで夢を持ち続けさせ、また避難した浪江町民を温かく受け入れて下さった方々との触れ合いを強めるため、遊休農地を借上げて農作物を作り収穫祭を開催し、余ったものは浪江町の道の駅で販売するなどして交流を図る。	二本松市、浪江町、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県	3,611
20	福島県出身者として抱え続けなければならない不安に寄り添う活動	ベテランママの会	「認知症予防のためのエンディングノート事業」により、「生活環境の激変した福島で老いていく不安」「放射能への不安」「福島県出身者としてスティグマを背負いながら生きる不安」向き合い、福島県民の心の復興を支えるものである。	相馬市を中心とする、福島県第一原発以北沿岸地域および避難指示区域下住民の県内避難先	2,509
21	地域の拠り所にじいろひろばプロジェクト	特定非営利活動法人にじいろクレヨン	石巻市大街道・釜地区で災害公営住宅の住民や地域住民と共に子供を見守り育む地域コミュニティを作る。子育て親子の集う場に地域住民も関わることにより、人と人との繋がりや信頼関係を作り多世代が交流する場を作り、地域住民が主体的に様々なプログラムに参画する機会を創る。地域に住む人々が子どもたちを温かく見守り、地域ので子どもを育むことのできるコミュニティ作りを目指す。	宮城県石巻市	1,968
22	避難親子の居場所と自立支援ママCAFEプロジェクト	特定非営利活動法人子どもプロジェクト	首都圏に避難している親子、また福島県等に帰還した親子がつながれる場所として地域のママと一緒に運営する常設のCAFÉを都内にオープンし、長野県(上田市、松本市等)と連携して自然体験や地域交流を推進する。イベント等、出張CAFÉも行い活動を広める。避難親子が生きがいを持って自立する足掛かりとなるように企業や一般市民と共に、国・自治体・企業・市民が親子を支える居場所の仕組みづくりのモデル事業とする。	東京都、福島県、宮城県、岩手県、長野県	14,531
23	ふくしまコミュニティ再生～互いにエンパワーメントし合える場「みんなの家」～	特定非営利活動法人ビーンズふくしま	住宅支援の打ち切りや避難指示区域解除などから、孤立していく家庭が増えていくことが予想されている。孤独や不安を抱えている人々と、福島の住民との繋がりを深めるためのイベントや講座を開催することで、孤独や不安の解消と心の安定に取り組む。	福島市、郡山市	6,993
24	石巻市の祈念公園予定地を軸とした後世への震災伝承	公益社団法人みらいサポート石巻	復興祈念公園となる南浜・門脇地区を軸として、震災の記録や教訓、震災前の街の記憶を聞き取り、共有することで、離散した住民の、失われた地域や時間とのつながりを回復すると共に、東日本大震災の記憶や教訓を後世へと伝承する。	石巻市、宮城県沿岸被災地	9,995
25	首都圏・広域避難者の自主的な『活力増進と風化防止』プロジェクト	TSKコンソーシアム(代表団体:特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター)	震災から6年を経て自主避難者、避難指示が解除された避難者、帰還困難区域の人などがそれぞれの岐路に立っている中で、あらたな生活に向けた生きる活力を引き出すことを目的に、避難者の主体的参画による実行委員会を発足し、様々な教室で学び交流会での仲間づくりの機会を支援する。なお、28年度の活動で避難者が生きがいを得た「震災の教訓を防災に生かす活動」を拡充して、小学校の授業や風化防止の展示イベントでの語りべ活動にも取り組む。	東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県	15,570

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
26	第3回石巻0311アートイベント”ISHINOMAKIアートファンタジア2017”	花とアートで再生復興プロジェクト委員会事務局(株)スペース・クリエイティブ	花とアートで津波の伝承と地域活性化を図るプロジェクト。南浜津波復興祈念公園に現代アートを設置し市民文化祭として市民の方々のアートの発表や現代アートと親しめるプログラムを実施することで、大災害の伝承とする。	宮城県石巻市	10,639
27	日本を元気に！夢の課外授業SPECIAL2017	二十一世紀倶楽部	被災地で生活されている方々が楽しく体を動かしたり、地域の方々と交流したり、新たな趣味・生きがいを見つけることが出来るような事業を実施する。事業の対象は、子どもたちを中心とするが、親子で参加することができたり、お年寄りも参加できるような工夫をし、世代間で自然に交流する機会が生まれ、地域の活性化を促すような工夫をする。	岩手県、宮城県、福島県の被災地域で広く実施	4,606
28	「千年希望の丘」岩沼復興アグリツーリズム[被災者対象]	岩沼復興アグリツーリズム協議会	岩沼の多重防衛のひとつであり復興のシンボルでもある「千年希望の丘」の植樹や育樹、その麓の「みんなの千年希望の丘ファーム」での農業体験、被災沿岸地区にあるコミュニティー施設「岩沼みんなの家」での震災語り部やファームで収穫した農作物を使った交流イベントを通じて、集団移転先や被災沿岸地区住民等の被災者を対象とした心身のケアと生きがいづくりを行い、被災地域コミュニティの再構築を図る。	宮城県岩沼市	3,500
29	高校生が発信する福島復興ロードマップ作成事業	特定非営利活動法人ハッピーロードネット	地域の放射線問題に対して適正な理解ができる環境作りを目指し、地域の高校生達が、チェルノブイリ原発事故に係る原子力被災対応の先進地であるベラルーシの専門家等とのディスカッションや、ベラルーシ及び全国の高校生を交えた、被災地の課題に関するワークショップなどを実施し、放射線のリスクコミュニケーションの問題への対応を始め、福島復興に何が必要か、まず何が出来るか等を自発的・科学的に考え、福島復興のロードマップを作成し、広く発信する。	福島県	4,459
30	地域住民とつくる「TOHOKU おらほナビ ～防災&交流コンテンツ～」	NPO ぐるぐる応援団、こども防災協会、宮城復興支援センター	【目的】被災体験／地域資源を元に、住民が自らが誇りに思える「防災」「交流」のコンテンツを作り出し、活躍の場を創出 【取組】「TOHOKU おらほナビ」～シェアしよう～：仮設住宅や公営住宅など地域コミュニティで、「災害時の体験」や「こどもに伝えたいこと」「地域の魅力」などをツールに住民が集まる機会を創出	東京都、茨城県、宮城県石巻市、南三陸町、仙台市、東松島市、女川町、福島県南相馬市、福島市、岩手県陸前高田町 他 被災地	4,691
31	広域避難者が地域社会で生きがい・やりがいをもって暮らすこと応援プロジェクト	東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト	1. 避難者交流ができるサロンを開催、避難者の孤立を防止し、避難者どうしのつながりを深める(仲間づくり)。 2. 避難者がつどい、クラフト・絵手紙などの習いごと、健康体操などの講習会を行い、生きがい、やりがいを得られるようにする(生きがいづくり)。 3. 避難者の暮らし、健康などの困りごとの相談にのり、生活再建を支援する(暮らしの相談)。 4. 避難者と避難先(移住先)住民との交流を広げ、避難者が地域に溶け込み、地域社会の一員として暮らすことができるようにする(地域とのつながりづくり)。	千葉県東葛地域(松戸市・柏市・流山市・我孫子市・野田市)	8,184
32	ひとの復興を後押しするプラットフォーム事業	みやぎジョネット	仮設住宅に残っている方が誰にも気兼ねせず出入りできる交流場を、地域をまたぐ住民有志と共に作り、さまざまな集いの機会を提供する。	宮城県南三陸町、仙台市、登米市など	14,069